



梅の花
日本には、梅まつりが開かれる梅園や梅林が各地にあります。早春に咲く花は、お花見の対象として桜より長い歴史があるといいます。原産地は中国で、一説には日本への渡来は弥生時代に朝鮮半島を経て入ったという説と、遣唐使が持ち込んだという説があるそうです。

(写真と文 七里)



千葉県版

NO.417

2023年3月15日

発行所

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

千葉県本部

〒260-0854

千葉市中央区

長洲1-10-8

自治体福祉

センター1階

電話

090-7909-0849

(小松 敦)

FAX

043-441-5094

Eメール

a-komatu@jk9.
so-net. ne. jp

千葉県「版」編集部

連絡先 七里一司

電話・FAX

047-314-8714



治安維持法犠牲者
千葉県本部会長

小松 実

いよいよ

統一地方選挙

「改憲」「戦争国家づくり」勢力に痛打を！

いよいよ統一地方選が間近に迫ってきました。今度の選挙では言うまでもなく地方の選挙ですが、安倍・菅・岸田と続く「改憲」と「戦争国家づくり」の動きを危険な動きのなかでしかも、テレビをはじめとするメディアも大方の野党も、この危険と真正面からは向き合わないという事態のなかでの

「戦争国家づくり」を許せば國土に戦火を呼び込むだけではなく、暮らしも福祉も破壊され、基本的人権や市民的権利の、していくというのが歴史の教訓ではないでしょうか。

(次ページにつづく)

選挙です。自治体のあり方が問われるだけでなく、この国の平和と民主主義が問われる選挙になりました。

ご承知の通り、集団的自衛権行使が容認されるもとで、敵基地攻撃能力の保有が宣言され、そのための大軍拡が強行されようとしています。そして、9条改憲が狙われています。

この日本の動きは、いわゆる相手国にも十二分に伝わっています。相手国もこれに対抗しようとするとでしょう。際限のない軍拡競争に陥ります。5年で43兆円もひどい話ですがそれだけでは済まなくなります。

—「戦争と弾圧の歴史」を糺し、

決着をつけよう！



治安維持法国賠同盟千葉県本部会長
治安維持法国賠同盟千葉県本部会長

小松 実

県本部は、昨年の総会で、2023年の次期総会までに、600人の県本部を実現することを決定しました。その次期総会が、いよいよ6月2日(金)に迫ってきました。

この間、県本部は、会員拡大で毎月前進を繰り返し、全国をリード。2月1日現勢で54

2名の組織に発展してきました。なかには、東京や埼玉の友人を仲間に迎えるなど、他県の組織拡大にも、貢献する会員も出始めています。

ご承知のように今、岸田政権のもとで、「戦争国家づくり」とそのための大軍拡が強行されようとしています。大軍

は、大増税と福祉・暮らしの予算の削減をもたらします。当然、国民からは怨嗟の声が上がり、運動が起ころう。しかし、それを押さえ込む弾圧立法も安倍政権以来、着々と準備されました。「共謀罪」「秘密保護法」「土地利用規正法」等々。

なぜ、こんな歴史を巻き戻すような動きがでてくるのか。その背景に、「戦争と弾圧の歴史」にきちんと決着がつけられていなかったという日本の戦後史の異常な特質があると思思います。そこを課題とし、戦争と弾圧の歴史と責任を追及し、これを糺すことで、憲法とこの国の民主主義を真に花咲かせ

ていくのが、同盟のもう一つの大きな任務だと思います。

県本部が、常に組織拡大をめざし、毎年国会請願署名とりくみ、さまざまな団体と連携をつよめ、講演会、出版、映画会などの学習・文化活動に力を注いできたのもそのためです。

「戦争と弾圧の歴史」に決着をつける力を、さらに大きくしていくではありませんか。全国屈指の前進をしてきたとはいえ、千葉県本部の組織は、有権者比ではまだだ0・1%程度です。どうか、会員の皆様には、同盟運動の趣旨をご理解いただき、身近なお知り合いに気軽に声をかけていただき、会員拡大にご尽力をいただきますよう、

天狗

天狗は、日本の伝承に登場する神や妖怪ともいわれる伝説上の生き物。

この天狗は、神奈川県南足柄市にある曹洞宗大雄山最乗寺のものです。

(写真と文 七里)



(前ページのつづき)
「改憲」と「戦争国家づくり」勢力の妄動にストップをかけなければなりません。彼らに痛打を浴びせる結果を出さなければなりません。会員諸氏の奮闘に期待します。

治安維持法国賠同盟

千葉県本部

事務局から

第9回県本部理事会が、2月21日開かれました。

小松実会長は、冒頭あいさつで、「今回の統一地方選挙は、

地方から岸田政権の大軍拡と

暮らしが破壊の政治にノーの審判を下し、福祉と暮らしを守る自治体の役割を前進させる重大なたたかいになりますので全力で頑張りましょう。

国賠同盟千葉県本部は、『大

軍拡・大増税NO!千葉県連絡会』に入りました。今後、連絡会の一員として頑張っていきたいと思います。』と述べました。

1、会員拡大

◆第50回県本部総会に向け、会員拡大600名の目標達成をめざし全力で取り組む。

◆統一地方選挙では、岸田政権の大軍拡・大増税に立ち向かう候補者当選に全力を尽く

すと同時に、選挙をたたかうなかで同盟入会を積極的に呼びかける。

◆出版記念講演会参加者に入会の訴えを郵送し、声かけを分担してある。

◆各支部は、支部目標達成をめざす。

◆他団体の集会や講演会など主催団体の了解をとつて、同盟の旗やゼッケンをつけて署名とりくむ。

◆これまでに協力を依頼した各種団体から署名を回収する。

◆統一地方選挙活動中、署名簿を必ず持ち歩き署名を呼びかける。

3、映画「伊藤千代子の生涯」の取り組み

◆統一地方選挙後の第3次上映会については、県実行委員会が計画している大規模上映会や各種上映会の成功をめざす。



4、報告事項

房総

◆2月14日、県本部三役会が開かれ、第10回理事会提出の議案と報告事項について審議した。

◆「不届」発送を2月14日に行つた。参加者は、植村恵美子、小松実、高橋妙子、渡邊喜代子、小松敦、七里一司の各氏。

◆映画「伊藤千代子の生涯」千葉県実行委員会が2月21日開かれ、同盟から小松実、渡邊喜代子、小松敦、七里一司の各氏が参加した。

5、理事会などの日程

◆三役会と「不届」発送は、3月14日(火)、4月11日(火)。

◆理事会は、3月21日(火)、4月25日(火)。

日本の新聞は、戦前・戦中を通じて国民に真実を伝えず、「聖戦への国民の動員」の旗を振り、侵略戦争推進のお先棒をかついだ。第2次大戦で敗北したナチス・ドイツの新聞がすべて廃刊になったのに対し、日本の新聞は戦後も同じ名前で存続するなど、戦争をあおった反省を明確にしていない。◆日本の日刊紙は約5100万部これは世界一だそうだ。日本のテレビは、読売新聞は日本テレビ、産経新聞はフジテレビ、朝日新聞はテレ朝日、毎日新聞はTBS日経新聞はテレ東京と、大手新聞とテレビ局が完全に系列化されているという異常な特徴がある。◆いま日本政府は、「国家安全保障戦略」など安保3文書閣議決定し、歴代政権が違憲してきた敵基地攻撃能力の保有を明記し、「戦争国家づくり」に邁進している。◆しかし、大手新聞やテレビは、戦争か平和かの歴史的な岐路に立つこの問題を報道しようとしている。戦前・戦中と同じ過ちを繰り返さないのか。マスメディアの責任が鋭く問われている。

会員拡大

会員到達は、546名

千葉市支部が2名拡大し、
今年度目標200名を達成し
ました。昨年5月1日より26
名の増です。

2月の拡大は、統一地方選
挙の取り組みの中で3名、船
橋支部再結成の取り組みで1
名、東葛支部長と千葉市支部
事務局長が各1名など6名の
拡大でした。退会が2名で4名
増となり、会員到達は546
名となりました。

れました。ありがとうございました。

すみだ北斎美術館

・1月14日、柏市 藤田廣登 35筆
・2月21日、市川市 新婦人千葉県本部 2095筆

2016年に開館した「すみだ北斎美術館」に行つてみました。都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分のところにありました。

美術館の外壁はアルミパネルで、地下1階、地上4階の建物です。

葛飾北斎は、墨田区亀沢で

生まれ、生涯のほとんどをこの地で過ごしたといわれています。代表作に『富嶽三十六景』や『北斎漫画』など、生涯に3万点を超える作品を発表したそうです。

生涯に改号すると30回、

転居は93回したこと。絵

を描くことに集中し、部屋が荒れたり汚れたりするたびに引越をしていましたからだと思います。

常設展では、北斎の生涯に沿つて作品が展示されていて、錦絵の解説や北斎の作品部屋も展示されていました。

(写真と文 七里)

国賠署名

署名到達は、4322筆

・2月21日、市川市 田中長義 15筆	・2月21日、市川市 安達絹恵 11筆
・2月21日、市川市 武田和夫 9筆	・2月28日、市川市 尾頭光代 3筆
・2月28日、市川市 中島きよ子 10筆	・2月28日、木更津市 野中晃 5筆

140筆

「軍拝署名」

2月28日、木更津市
野中晃

10筆

千葉市支部

140筆

2月は、新婦人千葉県本部
より、2095筆もの署名が
「ドーン」と寄せられ、月の署
名合計が2319筆となり、署
名到達は、4322筆となりま
した。

署名募金が9000円寄せら
れた。



北斎は84歳の頃、区内の棟(ほんのき)馬場に娘の阿栄(おえい)とともに住んでいました。その様子を門人の露木為一(ゆき・いい)が絵に残していました。本アトリエはそれを元に再現した模型です。
(北斎のアトリエの説明版より)

国賠同盟千葉県本部理事会

「拡大と署名の目標をどうしたら達成できるか」に熱の入った議論

2月21日、千葉県本部理事会が開かれました。

毎月1回の理事会、今回は9回目です。理事の方も県下各地からの出席ですから大変です。一番遠いのが銚子市から来る三浦眞清さんです。

今回の理事会は、統一地方選挙をたたかいながら、同盟員の拡大と国賠署名の目標をいかに達成するかが問われる期間でありますので、議論も熱を帯びました。

拡大で支部目標まで、あと1名となつた千葉市支部。拡大で牽引車の役割を果たす渡邊喜代子事務局長の拡大体験談は、自然体なのですばらしい。司会をしながら、議案や報告事項の説明をし、議事を進行させる事務局長の小松敦さん。毎回、大変な役をこなして



「不届」発送作業 忙しく、楽しく、 にぎやかに

2月14日、「不届」の発送作業を行いました。

発送作業は、5月の国会請願に向け署名目標の達成を1面で呼びかける中央本部の「不届」と、匝瑳市で開かれた『特高警察が踏みにじった人々』の記録・千葉県編・出版記念講演会の記事が1面に載った千葉県版「不届」。この二種類の「不届」に黄色の署名(治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める請願)と「平和、大増税に反対する請願署名」、いのち、くらしを壊す、大軍拡、

から、日本共産党の今とこれから映画「百年と希望」を2月28日、柏市中央公民館で上映する話がありました。監督・撮影・編集は西原孝至さん。 映画は、最古の政党が歩んできた百年の歴史と、それを受け継ぐ若き世代を映した。監

送の日取りは、「事務局から」の最後に「理事会などの日程」に載っていますので、応援できる方はぜひよろしくお願いします。
(文 七里)

手先は休むことなく忙しく動きますが、口の方も活動や情勢の話し、そして、冗談と休む暇がありません。
発送の日取りは、「事務局から」の最後に「理事会などの日程」に載っていますので、応援できる方はぜひよろしくお願いします。
(文 七里)

理事の皆さん、地方選と同盟の課題達成の思いを秘めて家路に着きました。(文 七里)



同盟員の

拡大の取り組み

治安維持法国賠同盟
千葉市支部

林 和江

毎年、1月下旬に元職場のメンバーが集まり、3月10日に開かれる東京大空襲の案内の手紙を発送しています。毎年他の会議と重なり不参加でしたが、今年はメンバーが少ないので、是非参加してとの要望にトコトコと浅草まで出かけることになりました。

作業は宛名シールを貼り、文書封入のり貼り2000通弱ですが、みなさん高齢となり作業も大変になつてきました。

そこのメンバーに同盟の署名と思い、またうまくいけば入会もと申込書も持参しました。

署名は、昔よくやつていたけど…懐かしいね。今もやつているの?といわれ、今、自分はお誘いを受けて行動しています。ぜひ署名を、毎年5月に

国会に提出しています。と訴えました。持ち帰る方もいて、書いたら送りますと、入会は

どうですかと言うと、ううんと言ひながらも今入会すると

3月まで1000円ですのと

言い、あとは地元の方から声がかかるかもしれないのと、よろしくお願ひします。と言い

名の入会をゲットしました。

私は今回のお誘いをしながら思いましたが、千葉は伊藤千

代子の映画「わが青春つきると

も」上映以来同盟の会員も増え、女性部も立ち上げ、運動

が前進していると思います。特

に若い世代に映画の視聴を訴え、今こそ戦争か平和かが問

われている年、戦争国家づくりの岸田内閣を許さない戦い

とするためにも全国に広げて

いく必要を強く感じました。

共に頑張りましょう。

狛犬

神社の参道の両側に一対で置かれている狛犬。

狛犬の表情は、実に多様です。

各地の神社を訪れるいろいろな表情をした狛犬に出会い

ます。

次に紹介する狛犬の一つは、

いまにも襲い掛かろうとする狛犬、もう一つは、なんともものんびりとした狛犬です。

狛犬は、石製のものをよく見かけますが、木製、金属製もあるそうです。狛犬は、架空の動物、靈獸だそうで、邪気を祓う意味があるといわれています。



1月28日匝瑳市で、『特高警察が踏みにじった人々の記録・千葉県編』出版記念講演会が開かれました。

この講演会で開会のあいさつをした治安維持法国家賠償要求同盟千葉県本部会長の小松実さんのあいさつ(全文)をご紹介します。



治安維持法國家賠償
要求同盟千葉県本部会長
小松 実

『特高警察が踏みにじった人々の記録・千葉県編』

出版記念講演会での開会あいさつ

「こんなには、ご紹介いただきました治安維持法国賠同盟の小松実でございます。今日は、お忙しいなか、「特高警察が踏みにじった人々の記録・千葉県編」の出版記念講演会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。

起こし、記録していくことは、國賠同盟にとって、いや平和と民主主義、憲法の精神の実現をめざすすべての人々にとって、決して疎かにしてはならない、きわめて重要な仕事ではないかと思っています。

今日、この匝瑳市の会場で講演会を開くことにしたのは、実は、その「10月事件」という弾圧の中心的な地域の一つが、当時の匝瑳郡、この地域だったからであります。

なぜこんな動きが、歴史を巻き戻すような動きが出てくるのか。私は、その背景に、あの戦争と弾圧の歴史がきちんと清算されてこなかつたという、戦後日本の歴史の異常な特質弱点があると指摘しないわけにはいきません。その異常、その弱点に焦点を当て、戦争と弾圧の歴史と責任を徹底的に明らかにし、その責任を追及し、清算していくことで、憲法

安倍政権以来のこの異常な年)10月の弾圧事件の特高警察の手になる膨大な記録のコピーです。私たちはこの資料を、当然のように、共謀罪や秘密維持法による弾圧犠牲者の名簿です。戦前、あの絶対主義の天皇制と軍国主義のもとで、戦争に反対し、暮らしどと民主主義のために、文字通り、命がけでたたかい抜いた、この千葉県の先人たちの記録です。そのたたかは、この国の平和と民主主義の、そしてその結晶である憲法の礎となりました。それらの先人たちの足跡を掘り

として、貴重な資料だとお墨付きをいただきました。加えて、この資料の解説までお願いし、それが本書の大きな魅力の一につになりました。力の一につになりました。

そのものの変質が狙われているように、権力にとつて気に入らない学問・科学を排除し、文字通りの国家総動員体制がつくられようとしています。

その編集作業のさなかに、私たちをきわめて重要な資料を発見いたしました。本書に収録をした「日本共産党千葉県委員会 日本共産青年同盟千葉県準備委員会 檢挙概況」と題する1932年(昭和7)

まろうとしています。たよう、「新しい戦前」がはじまりいただきまして、誠にありましたがどうございました。

『特高警察が踏みにじつた
人々の記録・千葉県編』
出版記念講演会での
感想文

◆貴重なお話ありがとうございました。荻野先生のお話→解説わかりづらかつた。初めて

（前ページのつづき）
賠同盟のもう一つの大事な仕事だと思っています。

◆千葉の発掘された官憲資料の値打ちがよくわかりました。相手(権力)のやりくちを学び適格にとらえたいと思います。匝瑳でこの集会がもたれた意味が、来てみてわかりました。

解説わかりづらかった。初めて聞きにきた方にも「治安維持法」とはどのように恐ろしいものなのかも、もつと具体的に話していただきたかった。私自身は、伊藤千代子の映画を観ておりましたのでよく理解できました。「いつか来た道」にならないよう、逆戻りさせないよう頑張ります。玉川寛治先生か

どうぞ、まだ国賠同盟に加入されていない方がいらっしゃつたら、今日の機会にぜひ、入会していただきたいと思います。そして、国賠同盟の組織と運動をさらに発展させていき一緒に、憲法と民主主義が花開く、「新しい国」を創つてい

今日の講演会は国民救済連盟千葉県本部と日本共産党中央委員会、そして私たち国賠同盟千葉県本部の共催ですが、あえて、国賠同盟の宣伝をさせていただきました。お許しを請い願つて、開会のあいさつとさせていただきます。

全農全会の拠点、千葉北部無
産者診療所のあとを訪ねる契
機をつくつていただいたことに
感謝します。顕彰碑、ぜひ協
力したい。

◆講演を聴き、あらためて治
らは大変具体的に治安維持法
の残虐性を語つていただき、感謝
で胸がいっぱいになりました。
頗る彰碑、協力したい。

出版記念講演会の
書籍普及

—60冊近く販売—

卷之三

◆講演を聴き、あらためて治安維持法までの義生者、叛

◆大阪から参加された国賛同盟
大阪府委員会の柏木さん
◆講演、よかつた。顕彰碑、協
力したい。

安藤 手添えながらの特待生 飯島喜美について考えて行きたいと思います。このような歴史が繰り返すことのないよう、今

講演 よかた 踏實研 撰

が繰り返すことのないよう、今

◆大変勉強になりました。特に荻野富士夫さんの講演ははじめての話が多くありました。

を生きる者としての責任を果たして生きたい。顕彰碑、協力したい。

顕彰碑、協力したい。

◆治安維持法の悪法内容の認識が深められて大変参考になりました。顕彰碑、協力したい

A detailed botanical illustration showing two separate flowering stalks. Each stalk has several small, bell-shaped flowers at the top, supported by thin, upright stems. The base of each plant is a cluster of broad, rounded leaves.



講演会参加者109名に對

千代子の映画の報告をされた藤田廣登さんの著書がずらりと並べられたこともあって、講演前、休憩中、講演後と参加者の多くが書籍コーナーにきて本を購入してくれました。

出版記念講演会での書籍普及――60冊近く販売―

書籍販売場所は、講演会場内正面の左側に設置しました。さすが日本共産党千葉県委員会や日本共産青年同盟千葉県準備委員会が特高警察に弾圧された1932年の「10月事件」の中心的地域の方々は、知識欲がすごい講演された荻野富士夫さんと驚きました。

(文 七里)





小林多喜二の母・セキさん

セキ生誕地記念碑

た。



小林多喜二の母・セキさん

浦安市議の美勢麻里さんが昨年11月、お父さんの従弟の葬儀で、秋田県能代市に行きました。そのとき、気になっていた祖父母の眠るご先祖の墓参りを40年ぶりにしたそうです。そして、そこから10分ほどとのところにある、小林多喜二の母セキさんの生誕記念碑を訪ねたといつて写真を送ってくれました。

碑には、「記念碑 小林多喜

二の母セキ生誕の地」とあり、

裏には、「平成十五年九月二

日(1961年5月10日)の出生地は、秋田県秋田郡釧路内村(現在の大館市)です。

セキさんが87歳9ヶ月でなくなつた後、多喜二の姉・チマさんが母親の遺品を整理していく、たどたどしい字で記した紙片を見つけました。

「ああ、またこの2月の月がきた。本当にこの2月という月が嫌な月、声を一杯に泣きたい。どこへ行つても泣かれない。ああ、でもラジオで少し助かる。ああ涙が出る。眼鏡がくもる」

セキさんは、死の前年、日本共産党に入党していました。

(記念碑の写真は美勢麻里、文は七里一司)

十八日、地域の人々の善意により之を建立す。釧路内歴史研究温故知新会」とあります。さらに正面左側には「市長古畑元書」と刻まれています。

美勢さんは、市長の書であることに驚いたといつてまし

思想弾圧の嵐が吹き荒れた昭和初め、非合法化の共産党員であつた多喜二は検挙され、豊多摩刑務所に入れられます。このときセキさんは、息子・多喜二に手紙を出すために独学で読み書きを学んだといいます。

2月20日、多喜二は赤坂で今村恒夫と連絡をとり、共産青年同盟の三船留吉と会う約束をした飲食店にいくのですが、そこに待ち受けていたのは築地警察署の特高刑事でした。三船はスペイだつたのです。それから3時間以上の拷問を受け虐殺されました。

セキさんが87歳9ヶ月でなくなつた後、多喜二の姉・チマさんが母親の遺品を整理していく、たどたどしい字で記した紙片を見つけました。

「ああ、またこの2月の月がきた。本当にこの2月という月が嫌な月、声を一杯に泣きたい。どこへ行つても泣かれない。ああ、でもラジオで少し助かる。ああ涙が出る。眼鏡がくもる」

読者の文芸

短歌



銚子市 真久絢子

父を恋ふ歌詠み終へて仏壇へノンアルコールの一缶供ふ
弾圧の時代にあらねど正論を貫く勇気よ春を待ちをり
牟寿なる姉妹は今日もスパーへ

風まだ寒き坂道下り来る

諸々を心に秘めて春を待つそんな私になれたらいいのに

銚子市 三浦好博

「外交とは武器を使はぬ戦争」ぞその為に憲法九条がある

また攻めてくると思ふぞ「軍拡」に

過去を知りたる周辺国は

「抑止力」に相手も更なる軍拡ぞ

リスクは一層増し来るものを

軍事費の四十三兆アメリカの国防予算に組み込まれゆく
底なしの沼に落ちゐる軍事費の
増やしあじめたら嘗てと同じ

旭市の

飯岡刑部岬展望台

『特高警察が踏みにじつた
人々の記録・千葉県編』出版

記念講演会の実行委員会が1
月19日、日本共産党北部地
区委員会で行われた帰りに、
旭市の飯岡刑部岬展望台に
行つてみようということになり、
小松実、小松敦、玉川寛治さ
んと私で見てきました。

この日は、あいにく冷たい強
い風がありましたが、展望台の
建つ刑部岬からは、眼下に何
隻もの船が停泊する飯岡港が
ひろがり、その向こうに九十
九里浜の湾曲した長い海岸線
が一望できました。「わあー、
すごい眺めだ」と、全員が感嘆
の声をあげました。



展望台の隣には、高さ9・8m
の飯岡灯台があり、その灯り
は38キロ先まで届くそうです。
(写真と文 七里一司)

「日本共産党の五十年党员が綴る『日本共産党とともに私の五十年史』」が、2000年1月、日本共産党千葉県委員会（編集委員会代表 谷ヶ崎温）から刊行されました。

今回、このなかから志位明義さんが執筆されたものを紹介します。

日本共产党と五十年に

日本共産党とともに

船橋市、一九四八年
十月入党
(1930年~2005年)
志位明義

志位明義

(1930年～2005年)

船橋市、一九四八年
十月入党

れるし、他に就職もできるというわけでした。教師の仕事は見よう見まねで始めました。三年生を五十人も受け持ちました。どう扱つていいものか分からず、一緒に遊んでいたように思います。その頃は何でもアメリカ式新教育で、古い教師たちは権威を失っていました。軍国主義はもうおしまい、民主主義でなければダメというわけです。いろんな教育理論・方法を取り入れる自由はありました。どうせ安月給、いつでも辞めればいいやという気楽さもありました。

こと、したこと、考えたことを書いたのをもとに考えさせり。自然でも社会でも、人間でも、次第に深く考えさせる。書いたものをもとに、教師と子ども、子ども同士の連帯ができる。親たちとも信頼関係ができる。私は、成長していく子どもたちから、沢山学ぶことができました。夜遅くまで、ガリギリをして、文集を作り、ひとりひとり違つた表紙をつけて楽しんだりしました。作文だけではあります。社会科も数学も体育も、戦前からの民主的な伝統を引き継いだ民間の教育団体がで、き、その研究と実践を学ぶことができました。五年も経つうちに、私自身、教師として自信を持ち、仕事が面白くなり、「夜学に通つて転職しよう」とは考えなくなりました。

F 小学校から分かれて N 小学
校ができ、私はそこで I 校長と出会いいました。教育勅語が好
きな古いタイプのボス校長で、自分の子分は大事にしました。私はこの校長とよく争いました。年度末になると、彼は私の転任先を探して来ますが、私の見方が好きだ」と動きませ
ん。この人と十年つきあいました。転任先を探してきました。例えば「こうもり傘事件」。若い教師が校長のこうもり傘を無断借用してひどく叱られ、私は「些細なことで何ごとか」と数名の教師と共に校長に抗議しました。「どうぼう誤認事件」。給食の物資が無くなるというので、住みの用務員のオバさんが校長に疑われました。用務員さんは、泣いて私に訴えました。私は「どんな証拠があるのか」と捩じ込みました。その後真犯人がみつかりました。私は「オバさんに謝れ」と校長に強く要求しました。彼は謝りました。

きな古いタイプのボス校長で、自分の子分は大事にしました。私はこの校長とよく争いました。年度末になると、彼は私の転任先を探して来ますが、私は「ここが好きだ」と動きませんでした。そしてときどき事件を引き起こしました。例えば「こうもり傘事件」。若い教師が校長のこうもり傘を無断借用してひどく叱られ、私は「些細なことで何ごとか」と数名の教師と共に校長に抗議しました。「じろぼう誤認事件」。給食の物資が無くなるというので、住込みの用務員のオバさんが校長に疑われました。用務員さんは、泣いて私に訴えました。私は「どんな証拠があるのか」と捩じ込みました。その後真犯人がみつかりました。私は「オバさんに謝れ」と校長に強く要求しました。彼は謝りました。

(次号につづく)

1997年7月26日、
日本国民救援会での講演

治安立法体制の歴史とたたかい

(3)

弁護士・元自由法曹団員

(1926年—)

上田
謝吉

卷之三

治安維持法は一九二二五年以降のことですが、この四階建ての建物の中心に四階を貫いて建物を支えていた柱の役割をはたしました。この柱の役割を

はたした治安維持法が活発な活動をはじめますと、今後四階建ての建物全体が揺れ動くという構造になつていたことがわかります。

大黒柱は治安維持法

治安維持法による検挙が、治安維持法二十年の歴史のかかで一番多かったのは、一九三三年です。一九二八年にピー

◎治安維持法
第一條 國体ヲ変革シ又ハ私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ又ハ情ヲ知リテ之ニ加入シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮二処ス。……

改正治安維持法（一九二八年）
第一条 國体ヲ変革スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタル者、又ハ結社ノ役員其ノ他指導者タル任務ニ從事シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役若ハ禁錮二処シ……私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタル者、結社ニ加入シタル者又ハ結社ノ目的遂行ノ為ニスル行為ヲ為シタル者ハ、十年以ドノ懲役又ハ禁錮二処ス。……

（官報）

クになつてそれがさらに下降してだんだん減つてまいります。しかし、例えば新聞紙法とか出版法といったようないわゆる警察的取締法による出版物の発行禁止とか、新聞の発行禁止とか、それらの出版物が禁止された例がいちばん多いのは一九三二年、三三年です。

治安維持法が活発に動きはじめると他の様々な法律なども活性化するという仕組み、構造になつていたと考えていいと思います。この体制が、一九四五年の十月に崩壊したわけです。日本国憲法の施行が一九四七年の五月、婦人參政権労働組合法、あるいは農地解放に関する様々な法律等々、地方自治などの戦後民主主義をかたちづくる大枠の役割の制度が四五年から四七、八年にかけて次々に用意されまいます。同時に、これは沖縄の切り捨てと表裏していたといふことは、見逃してはならない重要な論点であろうと思います。

■予防検束

釈放しなければならないとなつてはいたのが、たらい回しやむしかえしで、一年でも二年でも裁判なしで入れられてしまふという事になつております。自宅で検束しておきながら「住所不定」と称して、行政執行法による予防検束がしばしば乱用されましたけれどもこの行政執行法というのが実は一九四八年五月十五日に行政代執行法が新たに立法されるまで戦後しばらくはかなり活用されていたことも見逃してはなりません。

数字をあげておきましたが、この数字は驚くべき数字として一九四五年に二十七万、一九四六年で六十三万、四十七年で十四万五千といった警視庁管内だけでも膨大な数の予防検束が、戦後初期には依然として改められることなく行われていました。これは四五年改革の一種の隠された暗い部分です。

予防検査

うことは、見逃してはならない重要な論点であろうと思いま
す。

れるまで戦後しばらくはかなり活用させていたことも見逃

(次号につづく)